

「メバル」

元更生訓練所理療指導室長 川政 勲

メバルはフカカサゴ科の魚で、北海道から九州、朝鮮半島南部に分布し、沿岸の岩礁域に生息しています。卵胎生の魚で、高齢魚だと85,000粒も抱卵するそうです。

メバルにはウスメバル、トゴットメバル、エゾメバルなどがあります。その名の通り大きな眼をしていて、よく物を識別できるので、釣り糸も細くしなければならず、それに生きた餌を好むので釣りにくい魚の一つです。

体色は住む場所や深さによって黒灰色から黄赤色まで変化に富み、一般的には深さが増すにつれて赤味が強くなります。

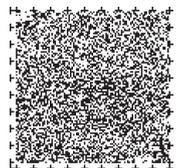
今から四十数年前、釣りに行かなくても生きた魚介類が食べられた函館から栃木の山の中の塩原視力

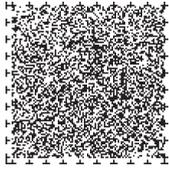
障害センターに転勤して、一番苦しかったのは新鮮な魚介がなかなか食べられなかったことでした。おいしい魚を食べようとすれば自分で釣りに行かなければなりませんでした。

当時、福島県のいわきの漁港から乗合船に乗り、メバルを狙いました。生きたエビを餌につけ、針の数だけ釣ったものでした。帰って来て温泉につかり、夕食で、刺身や煮付けにして食べ、ビールが進んだ思い出があります。

今は日立の港から出る乗合船に乗り時々メバル釣りに興じますが、釣果の殆どが魚拓教室の教材になるので余り口にする事ができません。

はまなすや岬を廻る監視舟 いさお





平成22年度 リハビリテーション実施状況（5月報告）

1 自立支援局利用者状況

(1) 昼間実施サービス状況（1日平均）

（単位：人）

課 程		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
自立訓練 （機能訓練）	H.22	25.1	23.8											24.5
	H.21	14.9	17.2	20.9	25.0	24.2	27.4	27.0	26.5	28.0	28.0	26.2	30.9	24.7
自立訓練 （生活訓練）	H.22	10.8	10.8											10.8
	H.21	9.6	9.9	9.1	7.8	6.3	9.8	9.8	9.8	9.4	9.7	10.0	11.0	9.3
就労移行支援	H.22	65.5	77.4											71.0
	H.21	55.3	62.7	56.5	59.8	66.9	70.3	76.8	59.0	66.8	56.8	61.0	42.6	61.0
就労移行支援 （養成施設）	H.22	87.8	95.0											91.1
	H.21	72.7	77.7	76.8	75.5	75.0	75.0	75.0	75.0	75.0	75.0	75.0	59.6	73.8
合 計	H.22	189.2	207.0											197.4
	H.21	152.5	143.6	171.0	176.0	172.3	165.1	188.6	154.1	162.2	153.4	155.8	151.0	168.8

(2) 施設入所支援サービス状況（1日平均）

		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
施設入所支援	H.22	202.6(66.4)	215.1(67.9)											208.9(67.1)
	H.21	185.3(69.0)	193.7(65.5)	187.3(64.2)	189.6(62.5)	187.8(58.4)	198.9(59.9)	200.6(59.7)	189.7(66.8)	194.5(64.9)	193.0(72.4)	192.0(68.2)	184.3(60.4)	191.4(64.2)

※（ ）は、職業リハビリテーションセンターを利用し、かつ施設入所支援サービスのみを利用している者の内数である。

(3) 独自事業（1日平均）

		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
自動車訓練	H.22	11.5(4.8)	16.6(10.1)											13.8(7.2)
再理療教育	H.22	0.0	0.9											0.4
臨床研修コース	H.22	1.3	3.0											2.1

※（ ）は、自動車訓練のみ利用している者の数である。

(4) 利用者数計（1日平均）

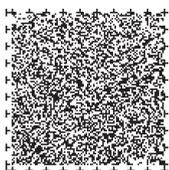
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
支援サービス	H.22	255.6	274.9											264.5
独自事業	H.22	6.0	13.9											9.7
利用者数総計	H.22	261.7	288.9											274.2

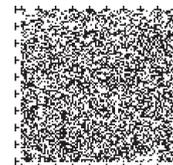
※1「支援サービス」は、「昼間実施サービス」の利用者及び「職業リハビリテーションセンターを利用し、かつ施設入所支援サービスのみを利用している者」の合計数である。

※2「独自事業」は、自動車訓練のみの利用者及び再理療教育、臨床研修コース利用者の合計数である。

2 病院入院患者の状況（1日平均）

区 分		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
総 数	H.22	115.6	117.1											116.4
	H.21	121.0	107.4	102.5	102.2	107.7	105.3	95.6	88.3	81.6	89.5	100.0	108.3	100.8
一 般	H.22	114.5	116.7											115.7
	H.21	119.4	104.8	100.5	102.1	107.0	105.3	94.7	88.3	81.6	89.4	98.7	108.3	100.0
利 用 者	H.22	1.1	0.5											0.8
	H.21	1.6	2.6	2.0	0.0	0.7	0.1	0.8	0.0	0.0	0.1	1.3	0.0	0.8





3 病院外来患者の状況（1日平均）

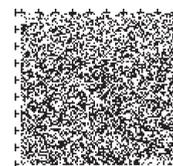
区 分		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
総 数	H.22	142.3	154.1											147.8
	H.21	154.9	162.1	151.0	152.6	147.9	151.5	146.6	145.2	151.5	143.6	135.3	135.7	148.2
一 般	H.22	129.7	142.1											135.5
	H.21	143.0	147.6	138.8	139.7	136.1	137.5	134.0	132.4	139.0	123.2	117.5	113.8	133.6
利 用 者	H.22	12.6	12.0											12.4
	H.21	11.8	14.3	12.2	12.9	11.7	14.0	12.6	12.7	12.5	20.3	17.7	21.9	14.6

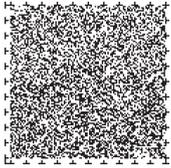
4 見学者の状況（実人員）

区 分		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
医 療	国 内	84	206											145.0
	海 外	32	54											43.0
教 育	国 内	12	96											54.0
	海 外	0	0											0.0
福 祉	国 内	106	68											87.0
	海 外	5	18											11.5
職 業	国 内	17	0											8.5
	海 外	0	0											0.0
そ の 他	国 内	50	42											46.0
	海 外	2	2											2.0
うち障害者 (再 掲)	国 内	9	21											15.0
	海 外	0	1											0.5
平成22年度 合 計	国 内	269	412											340.5
	海 外	39	74											56.5
	計	308	486											397.0
平成21年度合計		332	448	599	387	476	631	355	436	208	371	405	314	413.5

5 学院生の在籍状況（月末現在）

学 科	学 年	人 数
言 語 聴 覚 学 科	1 年	31
	2 年	28
	小 計	59
義 肢 装 具 学 科	1 年	10
	2 年	10
	3 年	8
	小 計	28
視 覚 障 害 学 科	1 年	10
	2 年	4
	小 計	14
手 話 通 訳 学 科	1 年	14
	2 年	11
	小 計	25
リハビリテーション体育学科	1 年	2
	2 年	3
	小 計	5
合 計		131





センターのロゴ

センターのロゴは、国際障害者年を記念し、入所者・職員から募集した作品の中から選定されたものです。

このロゴは、

- 1 リハビリテーションセンターを包む、リハビリに対する強い意欲・意思・たゆまざる努力、そして友情と信頼、
- 2 リハビリテーションセンターを出発点として、未来にまた広く社会各方面に向かって伸びようとする入所者・職員の姿、
- 3 手話の指、点字を読む指、職業、職能、理療に励む力強い5本の手指

をイメージ化したものです。

また、NRCD は NATIONAL REHABILITATION CENTER FOR PERSONS WITH DISABILITIESの頭文字です。

制作者 住田律夫（昭和56年制定）



上のシンボルマークは、WHO（世界保健機関）のマークです。

WHO（World Health Organization）とは、国連の仕事のうち、保健衛生の分野を受け持つ専門機関であり、その目的は、全人類の健康を守るために、世界の国々が力を合わせて努力しようとするものです。

国立障害者リハビリテーションセンターは、WHO指定研究協力センターの指定を受け、国際協力を行っています。

「国リハニュース」編集事務局

国立障害者リハビリテーションセンター管理部企画課

〒359-8555 埼玉県所沢市並木4-1

TEL 04-2995-3100 FAX 04-2995-3661

ホームページアドレス <http://www.rehab.go.jp/>

（国リハニュースはホームページに掲載されています）

※本誌へのご意見、ご要望等がございましたら、上記編集事務局宛

FAX又は、Eメール（kikakuka@rehab.go.jp）をお寄せ下さい。

